

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2016年4月6日
一般財団法人 日本気象協会

2016年桜開花予想(第8回)

～東北南部の桜も見ごろを迎える！ 来週には北部でもサクラサク～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：縄野 克彦、以下「日本気象協会」）は、2016年4月6日（水）正午現在での日本全国88地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想（第8回）を発表します。

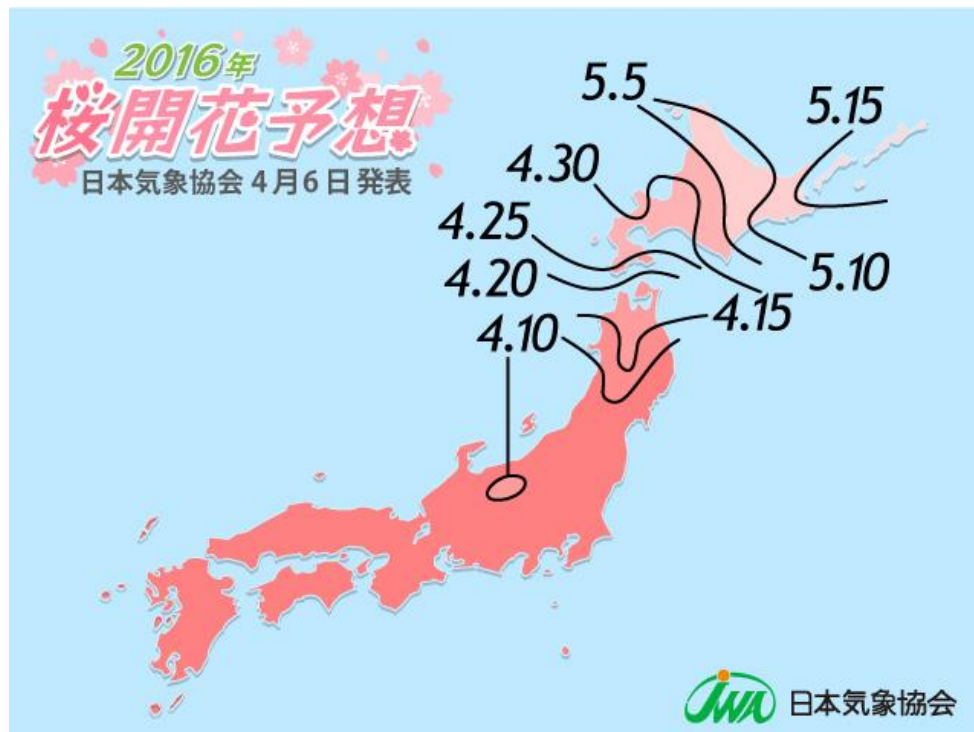
また、桜の開花予想が実施10年目となる今年は初の取り組みとして、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいざくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。

開花予想は、日本気象協会公開HP(<http://www.jwa.or.jp/>)や、天気予報専門サイト『tenki.jp』(<http://www.tenki.jp/sakura/>)にて無料で公開しています。

(1) 概況

4月に入り、桜前線は東北南部を北上中です。1日には仙台で開花し、3日は福島で満開となりました。これは、いずれも観測史上2番目の早さとなりました。また、長野県の各地でも続々と開花を迎え、桜のシーズンも後半に入っています。

この先、全国的に4月の気温は高い見込みで、来週にかけて東北北部と長野県の標高の高いエリアでも開花するでしょう。その後、4月下旬に桜前線は津軽海峡を渡り、ゴールデンウィークには札幌、旭川、帯広、室蘭でお花見を楽しむことができそうです。



2016年 桜開花予想前線図

●日本気象協会 長期予報

気温	4月中・下旬	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並か高い	高い	北海道の4月中旬の気温は、平年より高く、下旬はおおむね平年並みになります。前回予想に比べると、4月下旬の気温が高くなったことから、開花日・満開日とも前回予想より1日早まる場所があります。
東日本	高い	高い	
西日本	平年並か高い	高い	

(2) 関東、北陸より西は花散らしの雨に

3日から4日にかけて低気圧が本州の南の海上を通過し、本州を中心に広い範囲で雨が降りました。3月末から4月のはじめに満開になった関東北部や北陸地方までの桜は、この雨では散らなかつたものの、7日は全国的に再び天気は崩れる見込みで、花散らしの雨となりそうです。なお、来週の前半には、東北南部で満開、東北北部では開花するでしょう。

4月中旬は北日本、東日本で平年より気温が高くなる見込みです。下旬になると、おおむね平年並みとなりますが、5月上旬には再び平年を上回るような暖かさが戻るでしょう。東北北部や北海道の開花日・満開日は平年より早く、函館では4月中に満開となる見込みです。

(3) 桜開花予想のたより (リレートーク)

桜開花予想のたより リレートーク



富山県神通川河川敷の桜（ソメイヨシノ）の様子です。（4月5日撮影）
今年の桜は、日差しをたっぷり浴びたおかげか、いつもより花のピンク色が濃い気がします。



日本気象協会
北陸支店
気象予報士 谷口 聡一



香川県高松市の栗林公園の標本木（ソメイヨシノ）の様子です。（4月5日撮影）花盛りを迎え、辺りをピンク色に染めています。



日本気象協会
四国支店
気象予報士 川越 絵里子





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノほか）の2016年予想開花日・予想満開日（4月6日発表）

※平年（昨年）差の「-」は平年（昨年）よりも早く、「+」は平年（昨年）よりも遅いことを表します。
 ※平年値や昨年値は、気象庁・各自治体や名所の値を用い、平年値のない地点は過去の観測データを基に算出しました。
 ※満開を観測していない地点と過去の観測の記録がない地点は、予想満開日は発表しません。
 ※長野県伊那市（高遠城址公園）はタカトオコヒガンザクラ、北海道稚内市、留萌市、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、浦河町はエゾヤマザクラ、根室市はチシマザクラ、その他の各地はソメイヨシノを対象としています。
 ※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

九州地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
福岡県	福岡市	(3月19日)	-4	-3	(3月30日)	-2	+1
大分県	大分市	(3月28日)	+4	+2	4月7日	+4	+4
長崎県	長崎市	(3月22日)	-2	0	(3月30日)	-4	-1
佐賀県	佐賀市	(3月23日)	-1	+1	(3月31日)	-3	0
熊本県	熊本市	(3月22日)	-1	+1	(4月2日)	+1	+2
宮崎県	宮崎市	(3月24日)	0	+2	(4月5日)	+3	+4
宮崎県	都城市（母智丘公園）	(3月25日)	+1	+3	(4月3日)	+3	+5
鹿児島県	鹿児島市	(3月27日)	+1	+6	(4月6日)	+2	+6

気象予報士コメント
 日本気象協会 九州支社
 満開を早く迎えた福岡市や長崎市などは、7日の花嵐で花が散ってしまいそうです。一方、ようやく満開を迎えたばかりの宮崎市や鹿児島市などは、暖冬の影響で休眠打破がうまく進まなかったことにより、満開が遅れたとみられます。これらの地域ではこれから満開の桜を楽しめそうです。

四国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
香川県	高松市	(3月26日)	-2	+2	(4月4日)	-1	+3
徳島県	徳島市	(3月30日)	+2	+2	4月8日	+3	+5
愛媛県	松山市	(3月23日)	-2	-4	(4月3日)	-1	+2
愛媛県	宇和島市	(3月20日)	-2	-1	(3月30日)	-2	-3
高知県	高知市	(3月24日)	+2	+2	(4月2日)	+3	+3
高知県	宿毛市	(3月19日)	-4	-3	---	---	---

気象予報士コメント
 日本気象協会 四国支社
 四国の桜は見ごろを迎えており、ピンク色のじゅうたんができて始めているところもあります。7日の雨や風を乗り越えたところでは、今週末もお花見を楽しめそうです。

中国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
広島県	広島市	(3月23日)	-4	-1	(4月2日)	-2	+3
岡山県	岡山市	(3月26日)	-3	-2	(4月1日)	-5	-1
島根県	松江市	(3月23日)	-8	-6	(3月30日)	-9	-3
鳥取県	鳥取市	(3月23日)	-8	-5	(3月31日)	-7	-1
山口県	下関市	(3月28日)	+1	+3	(4月3日)	-2	+2
山口県	岩国市 (錦帯橋・吉香公園)	(3月24日)	-3	-3	(4月2日)	-3	+1

気象予報士コメント
 日本気象協会 中国支社
 中国地方は暖かくなり、桜前線は近郊の山々を駆け上っているところです。この先1週間は、山肌のところどころが次第に桜色に染まり、私たちの目を楽しませてくれるでしょう。

近畿地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
大阪府	大阪市	(3月23日)	-5	-3	(4月1日)	-4	0
滋賀県	彦根市	(3月30日)	-3	-1	(4月5日)	-4	+1
京都府	京都市	(3月23日)	-5	-4	(4月2日)	-3	+1
兵庫県	神戸市	(3月26日)	-2	-1	(4月3日)	-2	+1
兵庫県	姫路市（姫路城）	(3月24日)	-5	-4	(4月3日)	-4	+1
奈良県	奈良市	(3月23日)	-6	-4	(4月2日)	-3	+2
和歌山県	和歌山市	(3月22日)	-4	-1	(3月31日)	-4	+1

気象予報士コメント
 日本気象協会 関西支社
 近畿地方の桜は、各地で見ごろを迎えています。今週末にかけては、風に舞う花びらや水面を淡く染める花筏など、木を見上げる以外にもいろいろな桜の様子が楽しめるでしょう。



東海地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
愛知県	名古屋市	(3月19日)	-7	-2	(3月31日)	-3	+1
静岡県	静岡市	(3月27日)	+2	+5	(4月5日)	+2	+4
静岡県	浜松市(浜松城公園)	(3月28日)	+1	+6	(4月3日)	-1	+4
岐阜県	岐阜市	(3月20日)	-6	-3	(3月31日)	-4	+1
岐阜県	高山市	4月9日	-6	-3	4月13日	-7	-4
三重県	津市	(3月28日)	-2	-1	(4月2日)	-3	+2
気象予報士 コメント	日本気象協会 中部支社 多くの地点で見ごろを迎え、名古屋市内では花びらが舞い始めています。岐阜県高山市はまもなく開花し、満開の桜が高山祭を盛り上げてくれそうです。今月の半ばには飛騨地方で桜が楽しめるでしょう。						

関東地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
東京都	千代田区	(3月21日)	-5	-2	(3月31日)	-3	+2
東京都	八王子市	(3月22日)	-6	-5	---	---	---
茨城県	水戸市	(3月28日)	-5	-2	(4月6日)	-2	+2
栃木県	宇都宮市	(3月28日)	-4	-2	(4月4日)	-4	+2
群馬県	前橋市	(3月23日)	-8	-5	(4月1日)	-5	0
埼玉県	熊谷市	(3月23日)	-6	-4	(4月1日)	-4	+2
埼玉県	さいたま市(大宮公園)	(3月22日)	-4	-4	---	---	---
千葉県	銚子市	(4月1日)	+1	+2	4月7日	-1	+1
神奈川県	横浜市	(3月23日)	-3	0	(4月2日)	-1	+2
神奈川県	小田原市 (小田原城址公園)	(3月23日)	-3	0	(4月4日)	+1	+4
東京都	八丈島(八丈植物公園)	(4月3日)	+3	+6	4月13日	+4	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 本社 先週末の天気はすっかりせず、気温が低かったものの、各地で満開の桜と共にお花見を楽しむ声が聞こえました。関東平野内の桜は7日の雨で散ってしまいそうですが、八丈島ではまもなく満開となるでしょう。						

甲信地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
山梨県	甲府市	(3月23日)	-4	-2	(4月3日)	0	+3
長野県	長野市	(4月3日)	-10	-1	4月9日	-8	-1
長野県	大町市 (大町山岳博物館)	4月10日	-9	-7	4月17日	-5	-5
長野県	飯山市(飯山城址公園)	4月9日	-8	-6	---	---	---
長野県	松本市(松本城)	(4月1日)	-9	-3	(4月6日)	-9	-2
長野県	上田市(上田城跡公園)	(4月1日)	-8	-1	(4月6日)	-7	0
長野県	小諸市(懐古園)	4月7日	-8	-2	4月15日	-6	-2
長野県	諏訪市(高島公園)	(4月4日)	-8	-2	---	---	---
長野県	伊那市(高遠城址公園)	(4月3日)	-9	-2	4月8日	-9	-1
長野県	飯田市(大宮通り)	(3月29日)	-6	-1	(4月2日)	-7	-1
長野県	飯田市(天竜峡)	(3月26日)	-5	-2	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 長野支店 桜の開花前線は長野県の南から北へと順調に歩みを進めている模様。南部はおおむね満開。今週末は、北部の山沿いからも開花のたよりが届き、北部の平地と中部では見ごろになる見込み。						

北陸地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
新潟県	新潟市	(4月3日)	-6	+1	4月9日	-5	0
新潟県	上越市(高田公園)	(4月1日)	-7	-1	(4月6日)	-7	-3
富山県	富山市	(3月29日)	-7	-3	(4月1日)	-9	-3
富山県	高岡市(高岡古城公園)	(3月31日)	-6	-3	(4月3日)	-7	-3
石川県	金沢市	(3月30日)	-5	-1	(4月4日)	-6	0
石川県	輪島市	(4月3日)	-6	-1	---	---	---
福井県	福井市	(3月27日)	-7	-4	(3月31日)	-9	-3



気象予報士 コメント	日本気象協会 新潟支店 平年より早く咲き始めた桜は、ちょっと花冷えもありましたが入学式頃にはちょうど満開になりそうです。来週は新潟各地で徐々にお花見日和になるでしょう。
	日本気象協会 北陸支店 一部で花が散り始めましたが、北陸地方は今、花真っ盛り。花びらが舞う風景もいいのですが、これから満開を迎えるお花見スポットもあるので、いつもとは違う場所へと足を伸ばしてみたいはいかがでしょうか。

東北地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
宮城県	仙台市	(4月1日)	-10	-2	4月9日	-7	0
青森県	青森市	4月19日	-5	+5	4月24日	-5	+5
青森県	弘前市(弘前公園)	4月16日	-7	0	4月22日	-6	-1
青森県	八戸市	4月15日	-8	-1	---	---	---
秋田県	秋田市	4月13日	-5	+2	4月18日	-4	+3
秋田県	仙北市 (角館・桧木内川堤)	4月19日	-5	+2	4月24日	-4	+3
岩手県	盛岡市	4月13日	-8	+4	4月19日	-6	+3
岩手県	北上市(北上展勝地)	4月14日	-6	+4	4月21日	-5	+3
岩手県	大船渡市	(4月2日)	-12	0	---	---	---
山形県	山形市	(4月6日)	-9	-4	4月12日	-7	-3
山形県	酒田市(日和山公園)	(4月6日)	-8	+2	4月12日	-6	-1
福島県	福島市	(3月30日)	-10	-3	(4月3日)	-10	-3
福島県	いわき市(小名浜)	(3月31日)	-6	-1	4月8日	-4	0

気象予報士 コメント	日本気象協会 東北支局 この1週間は、南から暖かい空気が流れ込み、気温は高い日が多くなりました。これから先、多少の寒気の流れ込みはあるものの、気温は平年並みか高い予想です。このため、桜の開花は平年よりかなり早いところが多いでしょう。仙台では、今週満開となり見ごろとなりそうです。
---------------	--

北海道地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
北海道	札幌市	4月28日	-5	+6	5月2日	-5	+6
北海道	稚内市	5月9日	-5	+7	5月13日	-4	+8
北海道	留萌市	5月3日	-6	+5	5月7日	-5	+6
北海道	旭川市	5月1日	-4	+4	5月4日	-3	+6
北海道	倶知安町	5月5日	-2	+4	5月9日	-4	+5
北海道	網走市	5月8日	-3	+8	5月10日	-4	+7
北海道	帯広市	5月1日	-3	+5	5月4日	-3	+6
北海道	釧路市	5月14日	-3	+5	5月17日	-3	+5
北海道	根室市	5月15日	-3	+5	5月20日	-4	+5
北海道	室蘭市	4月29日	-7	+1	5月4日	-7	+2
北海道	浦河町	5月4日	-5	+3	5月9日	-3	+5
北海道	函館市	4月24日	-6	+3	4月28日	-6	+4
北海道	松前町(松前公園)	4月24日	-6	+5	---	---	---

気象予報士 コメント	日本気象協会 北海道支社 桜の開花前線は東北地方まで北上しています。桜前線が津軽海峡を渡って北海道に上陸するのは、函館市や松前町で平年より6日くらい早くなりそうです。お花見の予定は早めに立てると良さそうですね。
---------------	--

【桜の開花日・満開日に関する言葉の説明】

- 平年：1981～2010年の平均値
- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い



●日本三大桜 開花予想

	都道府県	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
三春滝桜	福島県	三春町	(4月4日)	---	0	4月9日	---	-5
山高神代桜	山梨県	北杜市	(3月29日)	---	0	(4月1日)	---	0
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	(3月28日)	---	-6	(4月3日)	---	-6

※日本三大桜は平年値なし



【山高神代桜 4月2日撮影】



【根尾谷淡墨桜 4月3日撮影】

【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供したいと考えております。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。

※本報道発表資料は報道機関ならびにニュースメディア向け資料です。日本気象協会の許可なく広告および販促活動にデータ、グラフ等を利用することを禁じます。



2016年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月3日(水)、第2回は2月24日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる35地点を対象としています。これらに今年から日本三大桜の3地点が加わります。

Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2015年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想、満開予想ともに3.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値（当協会ポイント予報および長期予報）を使用しています。

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽（はなめ）は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます（休眠打破）。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：JWA 公開 HP (<http://www.jwa.or.jp/>)、tenki.jp (<http://www.tenki.jp/sakura/>)、でご利用いただけます。tenki.jp では、開花（満開）の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上